

# 24年度 医学部定員増(続報) 増員される入試方式はこれだ！

国公立大は前期の増員が多数派、私立大は全て一般入試を増員！

旺文社 教育情報センター 24年1月

平成24年度で5年連続となる医学部医学科（以下、医学部）の入学定員（以下、定員）の増加につき、23年12月に国公立16大学から計68人の申請が出され、同月末に全て認可された。これで医学部を設置している79大学の定員の合計は、8,991人の過去最多となった。

1月中旬現在、定員増を行った各医学部の具体的な増員内容が全て明らかになった。ここでは「どの入試方式が何人増えるのか」を一覧にまとめて紹介する。

今回の定員増は22・23年度と同様、文部科学省により、①地域医療への従事を条件とした奨学金、選抜枠の設定（地域枠）、②研究医養成（研究医枠）、③歯学部定員振替（歯科振替枠）、の3つの枠が用意され、各大学はそれぞれの目的に応じて申請、認可を受けている。①は入試の段階で地域枠を設定する大学と、入学してから希望者を募って選考・選抜する大学がある。②③は入試に特別な選抜枠が用意されるわけではなく、いずれかの入試方式にその分の募集人員が増加される。なお、今回の定員増では、①が14大学65人増、②が2大学3人増で、③による増員はなかった。

次ページに定員増を行う医学部について、増加数とその内訳（上記①②）、地域枠の内訳（どの都道府県で何人募集か）、研究医養成の連携先の大学を示した。また、認可前に各大学から公表された募集要項には、定員増以前の募集人員が記載されているので、今回の定員増によってどの入試方式の募集人員が変更されたかを太字で示した（「募集要項の段階→定員増の後」で比較）。さらに、定員増を行わなかった医学部についても、23年と比べて募集人員の変更がある場合は「23年→24年」で示した。

定員増を行った医学部のうち、国公立大では5大学が前期日程（以下、前期）で増員。最も規模が大きいのは福島県立医科大 - 医で、前期の中に地域枠15人を新設した。また、神戸大 - 医(医)ではセンター試験を課す推薦を増員、奈良県立医科大では編入学を新規実施する。一方、私立大では9大学全てが一般入試を増員した。

なお、筑波大・東京医科大では、募集要項段階における変更もあわせて23年と比較する必要がある。例えば、今回の定員増(2人増)で前期を58人→60人に増加した筑波大 - 医学類は、募集要項の段階では前期を23年に比べ61人→58人に削減、地域枠推薦を7人→9人に増やしていた。このため、23年との比較でいえば、前期日程は61人→60人で1人減った勘定になる。

すでにセンター試験も終わり、最終的に出願校を固めた受験生も多いだろうが、医学部の場合は数人程度の増加でも大きなチャンスとなりうるし、奨学金制度のある地域枠の増加も経済面で不安のある受験生には朗報だ。冷静に判断したうえで、医学部合格をつかんでほしい。

## ◆平成24年度の医学部医学科の定員増と募集人員の変更

大学-学部(学科)	24年度の定員増 (編入学含む)	定員増の内訳			備考(①地域枠の内訳/②研究医養成の連携先/③歯学部 の定員減/24年入試の募集人員の変更<太字は今回の 定員増による変更>、など)
		①地域枠	②研究医 養成	③歯学部 から振替	
東北大-医(医)	120人→125人	5人			①宮城5人/前期105人→110人
筑波大-医学類	113人→115人	2人			①茨城2人/前期61人→58人→60人、地域枠推薦(セ試免除)7人→9人
滋賀医科大-医(医)	117人(変更なし)				前期80人→75人、県内枠推薦(セ試課す)8人→13人
神戸大-医(医)	110人→113人	3人			①兵庫3人/地域特別枠推薦(セ試課す)5人→8人
鳥取大-医(医)	107人→110人	3人			①鳥取2人・島根1人/前期57人→60人(地域枠のうち、鳥取10人→12人・島根4人→5人)
広島大-医(医)	117人(変更なし)				前期70人→75人、後期27人→22人
山口大-医(医)	117人(変更なし)				前期54人→52人(山口県枠2人をセ試課す推薦に移行)
香川大-医(医)	112人→113人	1人			①香川1人/前期57人→58人(地域医療推進枠<香川県枠>5人→6人)
長崎大-医(医)	121人(変更なし)				前期77人→76人、地域枠推薦(セ試課す)29人→30人
◇福島県立医科大-医	110人→125人	15人			①福島15人/前期47人→62人(地域枠15人を新設)
◇奈良県立医科大-医(医)	113人→115人		2人		②研究医養成=早稲田大・関西医科大と連携/編入学(2人)を新規実施(4月以降に実施。詳細は未定)
☆自治医科大-医	113人→123人	10人			①各都道府県/一般入試113人→123人
☆獨協医科大-医	115人→118人	3人			①栃木3人/栃木県地域枠入試5人→8人(一般入試またはセ試利用入試)
☆北里大-医	112人→117人	5人			①神奈川5人/一般入試82人→87人(神奈川県地域枠5人を新設)
☆順天堂大-医	120人→121人		1人		②研究医養成=新潟大と連携/一般(53人)、一般・セ試併用(35人)、セ試利用(20人)の3方式の中から入試結果により1人増
☆帝京大-医	113人→117人	4人			①福島1人・千葉3人/一般入試103人→107人
☆東海大-医	110人→113人	3人			①神奈川3人/一般A方式60人→63人(地域枠は入学後に選抜)
☆東京医科大-医	*117人→118人	1人			①茨城1人/一般入試77人→75人→76人(うち、茨城県地域枠2人→0人→1人)、茨城県地域枠特別推薦5人→7人
☆愛知医科大-医	105人→110人	5人			①愛知5人/一般入試60人→65人、推薦依頼校制20人→15人、愛知県地域特別枠入試(5人)を新規実施(セ試利用:出願締切3/2、2次<面接>3/10)
☆近畿大-医	105人→110人	5人			①和歌山5人/一般前期65人→70人

(注1)◇は公立、☆は私立。定員増は原則として編入学定員を含む。ただし、東京医科大の「定員増」欄の\*は、募集人員を示す。

(注2)備考欄のうち、①は地域枠の連携先の都道府県、②は研究医養成の連携先の大学等を示す。

(注3)備考欄中、24年入試の募集人員の変更については、セ試=センター試験、(以下、国公立大について)セ試免除=センター試験を課さない推薦・AO、セ試課す=センター試験を課す推薦・AO、前期=前期日程、後期=後期日程、の略。